

「アクティブラーニング」スタート！

スーパーグローバルハイスクール（SGH）研究指定のスタートとして、東志行期間中に「ブレインストーミング」と「KJ法」を活用し、グループプレゼンテーションを実施しました。課題研究における3つの視点「国際平和の実現」「医療支援の推進」「水環境の改善」の中から、各グループが1つを選び、研究内容を絞り込んでいきます。



↑ KJ法を用いてアイデアを論理的に整序しています ↑ 「水環境の改善」をテーマにグループ発表

※ブレインストーミングとは？

グループのメンバーが、ある問題について自由にアイデアを出し合うこと

※KJ法とは？

多くの意見・アイデアをグループ化し、論理的に整序して問題解決の道筋を明らかにしていくための手法

「調査活動」スタート！

東高の1年生にはナガサキタイムと呼ばれる時間が毎週1時間設定されています。ナガサキタイムやLHRなどの特別活動の中で、SGH探究活動（グローバルスタディ I）を継続していきます。4月中旬～5月にかけてパソコン室でグループ調査活動を実施しています。「ナガサキから平和・医療・水に関するグローバルな課題を発見する」「ナガサキにある教育資源を活用して課題解決に迫る」をキーワードに、苦闘しています。このような活動の中で、知見を広げたり、的確に情報を収集したり、仲間と協働して答えのない難題に立ち向かう協調性や忍耐力を培ってほしいと思います。



今後の主なSGH関連プログラム

5/15(金)元NASA宇宙飛行士Jon. A. McBride氏の特別講演

5/29(金)長崎大学片峰学長によるSGH基調講演

6月下旬 平和・水・医療に関する高等専門機関等による

SGH講演会・意見交換会